

発行／北但西部森林組合 美方郡香美町村岡区和田233-1 ☎0796-95-0511



高性能林業機械による間伐材の搬出現場

## ■もくじ

● 年頭のご挨拶	2
● 新年のご挨拶	3
● 県民緑税事業を活用した野生動物の生息地管理	3
● 提案型集約化施業の取組について	4
● 高性能林業機械の導入	4
● 高性能林業機械の導入	4
● 新人職員紹介	5
● 木質系中間処理施設の状況について	5
● 蝶の保存と山林の下刈りについて	5
● 山行苗木品評会 最高位授賞	6
● 組合員の名義変更についてお願ひ	6
● 第19回みどりの少年団交流大会開催	7
● 森林管理道「中辻肥前畠線」開通	7
● 商品紹介	8
● 編集後記	8



# 年頭のごあいさつ

代表理事組合長

石垣健三

新年あけましておめでとうございます。

昨年の夏は猛暑の続く毎日で現場は大変でした。

地球温暖化が進むなか、洞爺湖サミットが開催されたものの先進国と発展途上国との思惑が一致されず、目標は示されたものの具体的な取組が決まらないまま終わりました。その中でも日本は森林の効用を評価し、一層森林整備の推進が強く求められることとなつたことはよろこばしいことあります。

災害に強い森づくりを自らに創設された県民緑税は3年目を迎えたが、その中で里山防災林や針広混交林整備、野生動物との共生林造成が各地域や集落での実施希望が多い中で、本号では野生動物共生林の着手に伴う効用について、昨年新たに設置された森林動物研究センターに寄稿して頂きました。野生鳥獣の被害の多い管内での有効な手だてとなることを期待しています。又この制度もあと2年ということで、森林組合系統としては更に延長を要望しているところであります。又、全額国庫による未整備森林の整備事業として間伐の未着手箇所を対象に本年度はモデル事業として香美町内で実施していますが、新年度は一般事業として予算化される動きがありますので、これについても期待を寄せているところであります。

今、組合として最重要課題は作業班の充実と林内路網の整備に加え、効果的な施業推進です。特に国産材時代と云われながら材価の停滞が続き、成熟林が増えつつあり、山林所有者に利益還元が出来る仕組をいかに取り組むべきかが問われています。高性能機械としてプロセッサーの導入も一手段であります。本号ではその問題を特に取り上げて見ました。組合としても皆様の期待に添えるべく事業展開をしていく所存であります。

格別のご理解とご支援を切にお願いし新年のご挨拶といたします。

新年あけまして  
おめでとうございます。



副組合長理事  
尾崎美津人

本年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

さて、昨年6月22日に理事の選任をいただき副組合長をお引き受けすることとなりました。

もとより微力ではございますが一生懸命努めさせて頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

森林は、私達が生活していく上に必要不可欠であり、森林から算出される木材は、安価な外材に押され、国産材が長年低迷していることはご承知のとおりでございます。国産材時代という言葉が使用されるようになつてから二十年以上が経過していますが、その間、掛け声とは裏腹に自給率は減少の一途をたどり、林業やそれを基幹産業とする山村社会は困窮にあえいでいます。現在も、山村は過疎化・高齢化が進行するなかで最近では限界集落という言葉も使われるようになつて事態はいつこうに改善しているように見えません。しかし、木材市場の動向に目を移せば、国産材に対する注目度は上昇していき、ようやく国産材時代ということばが現実味を伴つて語られる条件が整つてきたように思われます。国産材が脚光を浴びる日を期待して止みません。

# 県民緑税事業を活用した野生動物の生息地管理

野生動物との共生を目指した取組について

## ① 科学的な野生動物保全管理

兵庫県森林動物研究センター

兵庫県では、科学的データに裏付けられた野生動物の保全管理を計画的、総合的に推進するため、平成19年4月、丹波市青垣町に「森林動物研究センター」が開設されました。

センターには、兵庫県立大学自然・環境科学研究所の教員を本部とする研究員6名と、農林水産系技術職員の森林動物専門員5名が配属されており、研究成果を活かした対策を現地でモデル的に実施したり、獣害に強い集落づくりを普及する体制を整備しています。

一方県民局には、森林林業課に森林動物指導員を兼務配置し、野生動物の生息状況や林業被害のモニタリング、生息地としての森林環境の整備指導に当たっています。



(兵庫県森林動物研究センター全景)

## ② 野生動物育成林整備への期待

野生動物の保全管理の基本理念においては、被害管理、個体数管理とともに生息地管理が重要ですが、平成18年度から「野生動物育成林整備」が県民緑税を財源として事業化され、その効果が期待されています。北但西部管内においては、獣類で本県の課題になっている在来種であるイノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ツキノワグマの全てが生息していることから、山林所有者の理解を得ながら山裾のバッファゾーン整備や管理歩道開設により人と野生動物の境界線を整備することと、奥山において餌資源を確保して適正な生息環境を整備するという両面において、時間はかかるでも大きな効果が発揮されるはずです。

バッファゾーンは、集落周辺でブッシュの刈払いや強度な間伐を行うことにより、クマやイノシシの潜む環境を除去し、サルが木々を伝わって接近することや、クマとの出会い頭の衝突をはじめ出没そのものを抑制する効果があります。一方、奥山にコナラやミズナラなどドングリ類が豊富に結実した年は、クマ、サルをはじめイノシシも好物であるため餌不足で集落に出没する機会も少ないとされており、堅果類や液果類など多様性のある広葉樹林を整備することも事業メニューとしています。新温泉町中辻の現場でもケヤキとともにミズナラが植栽されました。その後の調査で周辺のコナラにクマが残した熊棚が散見されることから成林が待たれます。

研究センターでは、シカの新型捕獲柵やシカ肉有効活用の検討、絶滅危惧種であるクマの学習放逐やサル追い払い犬の育成支援などに取り組み獣害に強い集落づくりを目指すとともに、バッファゾーンの維持管理への放牧牛の活用検討など育成林整備後の効果検証に参画し、県民緑税事業の新たな展開にも支援していきます。



平成19年度野生動物育成林整備事業地(新温泉町中辻)

# 「高性能林業機械の導入」

先人達が夢や希望を持って植林された山林は成長はするものの充分な手入れもされず、下草も生えない林が増えています。

適切な管理は山地災害・地球温暖化の防止、CO<sub>2</sub>吸収源対策など重要な役割の一員を担っており、そのためには森の施業をより啓蒙する必要があります。

下刈後の施業は除伐・不生育木の除去、本数調整の間伐から収益間伐となり、遠距離を架空線で搬出できる技術者が激減し、後継者もままならない状況の中、林内に作業道を開設し複数の高性能林業機械を駆使しての集材作業へと変わりつつあります。

森林所有者へ間伐事業でも利益還元が出来る素材生産基盤体系を確立するには、施業区域の団地化・集約化を進め、森林環境に配慮した作業効率の良い高密度作業道を整備し、低成本で立木を搬出する事の出来る高性能林業機械整備が必要不可欠です。設備初期投資は大変ですが、作業班員の安全且つ重筋作業の軽減により林業が見直され山離れを防ぎ、地場産業として組合員の活力の源になるものと確信し、機械化と森林所有者への立木代還元を進めています。

## 機械化での搬出システム(例)

バックホー(作業道開設)→ハーベスター・チエンソー(伐倒)→ロングリーチグラップル・スイングヤーダ(集材)→グラップル(集荷)→プロセッサ(枝払、玉切)→グラップル(積込)→ホワーダ・林内作業車(運搬)→グラップル(荷下、積込)→トラック(グラップル付)

## 現在保有の林業機械

バックホー	2台	スイングヤーダ	2台
グラップル	2台	プロセッサ	1台
ホワーダ	1台	トラック(グラップル付)	2台



平成20年度導入プロセッサ(枝払い、玉切り)

## 提案型集約化施業の取組について

戦後植林したスキ、ヒノキの人工林が間伐をして木材を利用する階段に入つてきました。また、世界的な資源需要の高まりが森林資源にも波及てきており、外材価格が高騰してきました。このため、製材・合板業界では外材の代わりに国産材の利用を拡大する動きが本格化しており、林業への期待は高まるばかりです。

当組合では少しでも森林所有者(組合員)に木材販売利益を還元するため小規模に分散した林地をまとめて団地化し作業路を整備しつつ、高性能林業機械を効率的に用いて利用間伐を実施していくことが必要です。

このように、複数の森林所有者の隣接する林地を団地化し、知識と技術を活かして一体的に施業を行ふことを「集約化施業」と言います。また、そのためには、森林所有者に分かりやすく森林施業の『提案』を行うことも必要ですので、合わせて『提案型集約化施業』と呼ばれています。

当組合管内の人工林は約23,000haあり、仮にこの70%を将来も生産対象(間伐)として管理するとすれば、10年に一度のロードーションとして、毎年の間伐面積は約1,600haになります。

当組合は、年間の間伐実施面積の目標を1,000haとしていますが、現状では約800haにとどまっています。

森林所有者の所有森林を管理している当組合は、所有者の協同組織として、森林を管理し、経営することが使命です。このことから当組合が集約化に取り組み、施業コスト削減によって所有者に木材販売収益を還元することで、管内の森林整備・管理を実現していきたいと考えます。

## 新人職員紹介



中村 幸子

## 【本人のコメント】

昨年2月に入組しました中村幸子です。3月末で退職された伊澤きよみさんが担当しておられた経理の仕事をさせていただいております。

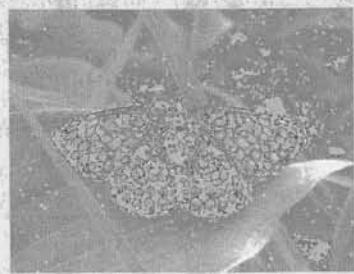
私は伊丹市出身で、結婚・出産・子育てを経て今回が3度目の再就職となります。いくつになつても挑戦する気持ちや学ぶ姿勢を忘れず、これからも努力してまいりたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い申しあげます。



## 蝶「ウスイロヒヨウモンモドキ」の保存と山林の下刈りについて

本年、香美町小代区新屋備地区の生活環境保全林内の下刈り工期を延長変更しました。その理由は絶滅危惧種として保全が必要とされている蝶を保全するための協力措置としてなされたものです。7月にオミナエシの葉裏に産卵し、20日程でふ化。幼虫はオミナエシの葉を食べて成長、夏を過ぎると地面付近の枯草の中に越冬のための巣を作り、春になると幼虫が活動するというサイクルです。そこで兵庫県昆虫同好会で世話役の近藤伸一氏（元但馬高原林道建設事務所長）から寄稿いただきました。

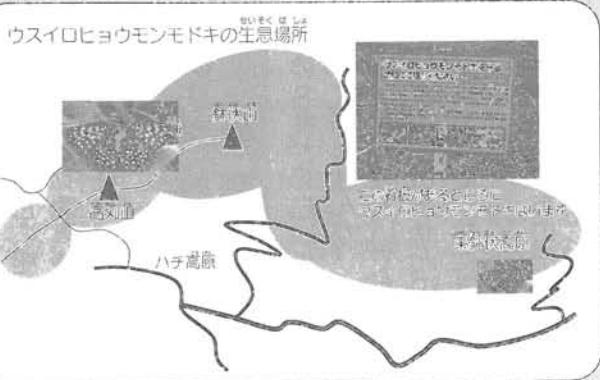
ウスイロヒヨウモンモドキというチョウは、日本で最も絶滅のおそれの高いチョウです。中国山地を中心に広く分布しておりました。生息地はオミナエシが咲く草原でした。これは適度に草刈りをしなければ、環境のよい草原が維持できないため、近年各地で絶滅しています。鳥取、岡山、島根でわずかな面積の区域



ウスイロヒヨウモンモドキ

に生息していますが、その規模は狭く、成虫の数も少なくて、風前の灯火といった状況です。兵庫県では牧場から、スキー場へうまく変身し、よい環境の草原が残ったため、幸いにも鉢伏周辺だけが生き残っていました。かつては佐用町から温泉町まで広く分布していましたが全ての地域で絶滅しました。鳴神スキー場、ハチ北スキー場、耀山牧場も10年ほど前まで生息していましたが、絶滅しました。高丸山（新屋）も2003年には数百頭まで減り、絶滅の一歩手前まで来ましたが、保全対策が功を奏して、現在では4,000～6,000頭（蝶の数え方は頭又は匹）まで復活しています。

生息地のオミナエシの生育がポイントとなりますので、毎年花から種子を採集しています。そのような理由で、今年も結実してから（10月末ごろ）種子が採集できるように花にテープを巻いています。作業にはじゅまになると思いますが、将来は草原全体をオミナエシの花で黄緑に染め、北海道のラベンダー畑を凌ぐ風景になることをめざしています。日本で、この地しか見られない蝶がいる、オミナエシの大草原は、観光客にとって魅力的なものではないか、自然を生かした町おこしにつながらないかとたくらんでいるところです。



# 木質系中間処理施設の状況について

稼働を始めて2年が経過しました。お陰様で管内の建築・建設業者の皆様にご利用をいただいております。以前は処理工場が美方郡内になかったものですから、皆さん遠くまで運搬されていたようですが、近いところに処理工場ができ運搬等の時間のロスが減ったと喜んでいただいているようです。

産業廃棄物というと何かしら危険なもののイメージをもたれると思いますが、当センターの取扱い品目は「木くず」のみであります。廃棄物を破碎機で細かくし主にバイオマス発電の燃料用チップを生産しています。

今回は産業廃棄物処理法での「木くず」の定義についてお話しします。「木くず」は一般用語としては廃材のことをいいます。廃棄物処理法では、特定業種から排出される廃木材のことで、排出源として指定されている特定業種は、建設業、木材・木製品製造業、家具・装備品製造業、パルプ紙・紙加工品製造業の4業種となります。それ以外の産業から

排出される廃材は、すべて一廃（一般廃棄物）となります。木材関連工業から排出される廃木材には、製材残材や端材があり、さらに鋸くず・木皮・チッハーダスト・鉋くずなどがあります。建設業から排出されるのは、建物の解体や建設工事に伴って発生する廃木材や梶包用木枠・パレットの廃損品などで、内装建材、不用家具、枕木、電柱、港湾廃材などを含んでいます。

最後になりましたが、今以上のご利用をお待ちしております。

受入品目等は次のとおりです。

伐採材	生木枝葉	12,000円/t
	根株	25,000円/t
	角材（柱、垂木）	6,000円/t
解体材等	板、製材の端材等	12,000円/t
	廃パレット	15,000円/t

受入時間……午前8時30分～午後4時30分

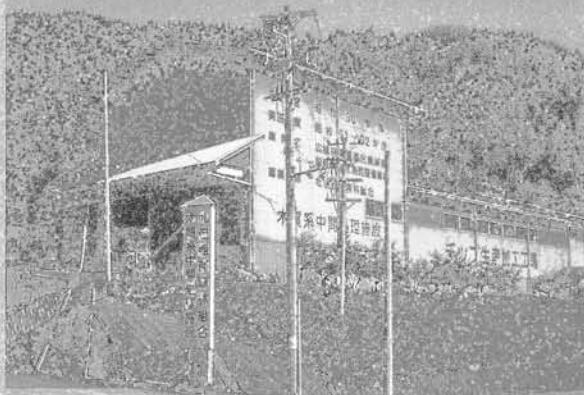
受入できない日…土曜日、日曜日、祝祭日

保管制限数量の関係がありますので、持ち込みされる場合必ず事前に連絡を下さい。

## 連絡先

北但西部森林組合林産加工センター  
兵庫県美方郡香美町村岡区長板542番地

☎ 0796-95-1147  
FAX 0796-95-1141



**組合員の名義変更について  
お願い**

組合員の名義が死亡した祖父、父等の名義になつていませんか。

山林の相続がされていても、組合員の名義変更はされていませんので、もう一度出資証券をご確認いただき変更の手続きをお願いします。

手続きは現在お持ちの出資証券と印鑑をご持参いただければ、本所または支所で手続きいたします。

山行苗木品評会最高位受賞

苗木生産の組織は、北但西部森林組合種苗生産部会として活動してきましたが、北但西部山林種苗組合に組織変更し、組合長の上田穰氏が兵庫県種苗協同組合連合会の理事長に就任されました。

＊――＊――＊――＊

上田 穰（村岡区宿）

山本 弘毅（村岡区口大谷）

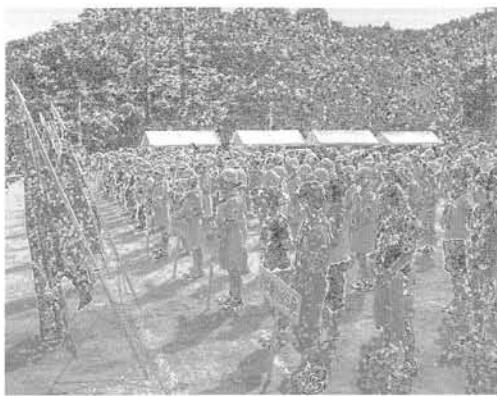
【平成19年度全国山林苗品評会】

農林水産大臣賞

知事賞

山行き苗木の生産技術は全国でもトップであり、毎年なにかの賞を授賞されていますが特に今回は最高の農林大臣賞を県内で11年ぶりに授賞されました。おめでとうございます。今後とも優良苗木生産に頑張って頂きたいと思います。

## 第19回みどりの少年団交流 大会開催



美方郡の小学校で構成するみどりの少年団の交流大会が8月4日に香住区境の今子浦グランドで開催され、340人の少年団が参加しました。式典では「誓いの言葉」の発表を香住小学校



昭和62年度から平成19年度まで21ヶ年経て完成した林道です。

【総延長】 1,5,866m

【幅員】 4.0m

【利用区域面積】 722ha (針葉樹390ha・広葉樹332ha)

この林道は、県立但馬牧場公園の照来スキー場を起点に、愛宕山(584m)・荒神山(902m)・水池山(947m)の西側山麓を縦断し、岸田(肥前畠)の県道霧滝村岡線に通じています。

開通によって西側山麓に広がる広大な森林において、適正な森林管理・整備が促進され、森林の持つ多面的機能がより一層発揮されます。また、周辺地域の農林業の振興と併せて生活環境の整備にも大きく貢献できます。

【平成20年10月15日】  
開通記念の式典が催され記念碑の除幕式が行われました。



## 森林管理道「中辻肥前畠線」開通

# 本当の価値の分かる方へ

## 林業資材の専門店

プロの方から一般の方まで  
使用者の要求に合った製品を提供し  
安心と充実感をお届けします

Husqvarna

Great experience



愛林興業株式会社 但馬営業所

養父市上野1357 TEL(079)664-2101

本社 姫路市飾磨区恵美須294-3 TEL(079)234-8181

神崎店

神河町吉富1409-2

TEL(0790)32-0570

## 商品紹介

The advertisement shows a red and yellow box labeled '森林香 携帯防虫器' (Forest Fragrance Portable Mosquito Repellent) with '30P' indicating 30 coils. To the right is a compact, red, oval-shaped device with a spiral pattern. Below the box is a large red spiral mosquito coil. The background is light green.

**薬剤各種**

**クサトールFP 粒剤 5kg ¥2,100**  
スキ・ササの防除に最適。庭の除草等にもどうぞ。

**ケイピンエース 50本入 ¥840**  
クズの根株に直接挿すだけのクズ専用除草剤。

**ザイトロン 微粒剤 5kg ¥7,980**  
クズ・イタドリに効果大。散布剤、葉面吸収剤。

ほかにも散布剤、液剤各種取り扱っております

- 各種林業機械・資材
- 鉈・鋸・鎌  
大きさ・形状・重量等、使い慣れた物に近いものを。
- チェーンソー・刈払機（本体・部品）  
ハスクバーナ・新ダイワ・ロビンを取り扱っています。
- きのこ原木栽培資材  
しいたけ・なめこ等のコマ菌・オガ菌各種あります。
- 昔ながらの道具もお探しいたします

## 購買事業の 拡充について お願い

従来から山林用の購買品の取り扱いを行っていますが、当組合の品物は山林で使用するものとしては最適の商品であります。作業班の皆様には現場で使って頂き、品質は市販のものに比べ良質であるとの認識をいたしております。組合員の皆様も現場で遊休地における圃場整備作業等に

この度は当組合での売れ筋商品を紹介させていただきました。上記の商品は、ほんの一部ですので、お気軽に当組合までお問い合わせ下さい。

ており、公的資金での間伐事業、緑税関連事業も災害に強い森づくり、動物との共生の対策のために使われております。森林組合では少しでも山林所有者に還金出来るように、提案型集約化施業の推進、機械化を図ります。また国、県と連携して、自然保護、森林が持つ公益的機能発揮のために頑張っておりましますので、皆さんも一度目線を少し上に向け森林を満喫し、森の大切さを再考して見ては如何でしょう。

一昔前までは山から生活に必要な燃料の薪や柴を取つてきましたが、少しでも耕地を作つて作物を生産していましたので、森林は適度に管理されていましたが、近年では森林の荒廃化が進み山地災害が起きやすい状態になっています。また民家周辺にあつた耕作地も段々原野化が進んで来て元には戻せない状況で、本来であれば民家付近では見られなかつたイノシシや熊が出没するようになり、被害が起きやすい状態になつております。

朝晩急に冷え込んだ昨秋の紅葉はとてもあさやかで、私達の目を楽しませてくれ、癒してくれました。四季の移り変わりとともに景色が変化する山村地域に住む私達は、四季の変わり目にはふと普段には感じない季節の変化を肌に強く感じることがあります。

編集後記

